

祝日は国旗を掲げましょう。

皇紀2680年
一文月一
7月号

発行所
生長の家 両丹道場
舞鶴市字北吸 497 番地
TEL (0773) 62-1443
FAX (0773) 63-7861
白濁会 (0773) 63-5080
発行人 伊藤 夏樹
編集人 船木 悟

◎ “自然と共に伸びる運動”の実現のため、
“神においてすべて”の宗教心を多くの人に広げよう！
◎ 第一線の「誌友会・母親教室」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！

七重塔は実相の表現（抜粋）

生長の家 総裁 谷口雅宣

このように考えると、「七」という数字は「すべて」と「完成」を意味していることが分かります。そういう理解に立って七重塔を見ていただきますと、その意義が一層明らかになってきます。それは、存在の「すべて」であって「完成している」のですから、実相のことです。「実相世界とは、神の創造のすべてであって、それはすでに完成している」というのが私たちの信仰の中心であります。だから、私たちが今、目前に見ているものは、実相世界を三次元の立体に「翻訳」して表した特殊な建造物であるのです。
聖経『甘露の法雨』には、実相世界の描写としてこう書いてあります。
神があらわれるれば乃ち／善となり、／義となり、／慈悲となり、／調和おのずから備わり、／一切の生物処を得て争うものなく、／相食むものなく、／病むものなく、／苦しむものなく、／乏しきものなし。
これは実相世界を質的に、また機能面から描いた一つの表現であります。（中略）これは、言葉による質的な表現ですが、それを形によって視覚的に、また構造的に表す方法があってもいいわけで、その一形態として七重塔は造られました。

『“新しい文明”を築こう』上巻 基礎篇「運動の基礎」
一七〇～一七二頁

万教包容の御祭と七重塔

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

今月七日は「万教包容の御祭」の日。本部が東京の原宿から山梨県北杜市へ引越した二〇一三年から、毎年「森の中のオフィス」の万教包容の広場で「七重塔」を前に執り行われている御祭ですね。昨年の御祭における総裁先生のお言葉から、その意義について少し復習しましょう。

これは何をきっかけにしているのかというと、谷口雅春先生に昭和七年七月七日に啓示された「万教包容の神示」によるのであります。生長の家は人類光明化・国際平和を旨とする運動ですから、そのためには世界の宗教の共存が必須であり、それを説いた神示を根拠とするのであります。（機関誌『生長の家』二〇一九年九月号五頁）

次に、なぜ七重塔なのかを理解するために、同じく総裁先生のお言葉から、これが何を象徴するかを確認します。

七重塔は、七項目にわたって「すべては一体」であるということ象徴しています。（中略）その「すべて」が、具体的にどんなものかを

表現して理解するために、七重塔の形に表したということです。

それは七つの宗教、七つの大陸、七つの民族、七つの文化、七つの世代、七つの生命、そして七つの拠点でした。（同書 十二頁）

ここで七とは「すべて」「完成」を意味しますから、七重塔が示すところの項目の一番目、「七つの宗教」において「すべては一体」とは「万教帰一」の意味となります。同様に「七つの大陸」においては、世界の多様な国々が大調和する「国際平和」を意味することになり、「七つの民族」では「多様な民族の調和」、「七つの文化」では「多様な文化の調和」、さらに「七つの世代」では世代間に生長の家の教えが永遠に引き継がれる「世代間の調和」、「七つの生命」では多様な生物種が繁栄する「生物間の調和」、そして「七つの拠点」では、生長の家の運動が発展していく「拠点・組織間の調和と発展」の意味となります。そしてすべてのものが中心に帰一して調和していることをその形に表した七重塔が、これらの意味を示している。（参考『生長の家白鳩会 会員のしおり』つまり上段の先生の御文章にあるように七重塔はまさに実相世界を表しているわけですね。

さて、この七重塔（縮小模型）が両丹道場でも設置されることになりました。具体的に

は、二階大道場の実相額手前正面に設置され、その手前にはさらに「造化の三神」の神霊符を納めた三社造りのお社が配置されます。(写真参照：「万教包容の御祭」の際には、両者の位置を入れ替えることになっています)これは日本での対応ですが、その要点を本部からの通達をもとに簡単に説明しますと、生長の家が万教帰一を説く教えであることを目で見てわかるようにすることにあります。

生長の家では、「あらゆる宗教の本尊の奥にある「實相」(唯一の真理)を礼拝の対象とするため『實相』の書を掲げる」ことになっていますが、その実相を仏教的に表現すると七重塔となり、実相の「ムスビ」の働きを神道で表現すると「造化の三神」となります。私たちはこれから実相額の前に七重塔と「造化の三神」を祭祀して、具体的に仏教と神道を象徴として、宗教の違いを超えて、その奥にある実相を礼拝するわけです。どうぞ皆様、状況が改善され、道場の行事などにお越しの節は、この意義を思い出しながら礼拝ください。詳しくはまた、別の機会に説明させていただきます。



「青年会便り」

青年会事務局長 渡利 あすか

「季節感」

プラスチック製品をなるべく持たないようしようーそう意識するようになった私は、去年ガラス製の水差しを購入しました。レモン柄のプリントが施された昭和レトロの可愛らしい製品です。これで水出しの緑茶を作り、暑い日の仕事帰りに和菓子の水無月と一緒にいただく、とても爽やかな心地になります。今年に入ってから新型コロナウイルス感染症の影響により、季節の行事は軒並み中止となり、四季を感じる余裕もなかなかありません。ですが、日々の生活の中で出来るささやかな、けれど丁寧な暮らしを通じ、私たちの身近にある幸せを噛みしめて生きたいと改めて感じる日々です。神様、ありがとうございます。

諸行事中止のお知らせ

一、二〇二〇年度の全国幹部研鑽会、全国大会は中止となりました。

同行事中止の代替案

① 総裁・谷口雅宣先生、白鳩会総裁・谷口純子先生がフェイスブック上に、「急設スタジオ」として投稿された動画を一本の動画として作成、組織会員と全国幹部研鑽会・全国大会の共通招待者を対象として、七月十一日から同月三十一日までオンデマンド配信します。

② オンデマンド配信を視聴できない組織会員のため、教区へ配布されたDVDを活用します。

二、令和二年度の宇治別格本山の宝蔵神社盂蘭盆供養大祭は中止となりました。

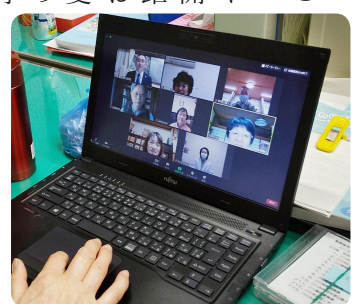
三、令和二年十月二十六日(月)〜二十九日(木)に予定されておりました「生長の家龍宮住吉本宮団体参拝練成会」は中止となりました。

ご理解とご協力をお願い申し上げます。

～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。
地方講師・光明実践委員の皆様には「自然と共に伸びる運動」に邁進して頂いていますことを心より感謝申し上げます。
去る五月三十一日(日)

十五時〜十五時三十分、ZOOM使用のオンラインの研修会を試験的に開催させて頂きました。距離が離れているのに、お互いの表情が見えて大変嬉しく、あつという間の三十分でした。様々な行事が中止になって寂しいところですが、これからの時代はオンラインを活用して運動を展開していく必要性をとても感じました。



現況では、両丹道場での一日研修会の開催は難しい状態となっております。これを良机と受け止めて、前月号でも紹介しました通り、パソコン、スマホ、タブレットの端末等を利用して参加して下さいますようお願いいたします。開催日時につきましては講師連絡網でお知らせしたいと思います。

テキスト・会員必携書『新しい文明』を築こう』
上巻 基礎篇「運動の基礎」、機関紙『生長の家』当月号、普及誌三誌等、活用いたします。

※地方講師会総会の審議事項であります平成三十一年度決算及び令和二年度予算につきまして、総数九十二名の講師の方々に総会資料及び表決書を郵送させて頂き、七十四名の講師の方々が決算・予算ともに賛成の表決書を返送して下さいました。このようなことは前例のないことではありますが、伊藤夏樹教化部長ご指導の下、両丹道場責任役員会(幹事会)の議決条件に準じ、三分の二以上の賛成を得ての議決とさせて頂きました。

皆様方のご協力に感謝申し上げますと共にご理解の程お願い申し上げます。

総裁先生ご夫妻のご自宅急設スタジオから

生長の家総裁谷口雅宣先生、白鳩会総裁谷口純子先生より、フェイスブック上で、ご自宅にある急設スタジオにて録画されたお話を、5月23日から幾度も配信して頂いております。直接お話しを拝聴することが出来、私達信徒にとって誠にありがたい機会となっています。皆様是非、視聴ください。



7月度の対策部だより

普及誌購読者拡大

いつも普及誌をご愛読して頂き、ありがとうございます。

「生長の家の月刊誌のご案内」に、〈生長の家の月刊誌『いのちの環』『白鳩』『日時計24』は生長の家「人間・神の子」の教えに基づいて、自分らしく生きること、健やかに暮らす秘訣、家族や子供の幸せ、いのちの尊さ、自然と調和したライフスタイル、環境問題・エネルギー問題など、様々なテーマを取り上げ、ご好評を頂いております。〉と、記載されております。ぜひ、3誌を手元に置いて頂き、ご友人にプレゼントなどをして頂ければ嬉しいです。よろしく願い致します。

聖使命会員拡大

親愛なる聖使命会員の皆様如何お過ごしですか？

5月末に全都道府県・緊急事態宣言が解除されました。その間私達は、総裁先生のコロナバスターズ宣言の下、今出来ることに全力を尽くして来ましたが、まだまだ不慣れではありますが、オンラインによる会議や、誌友会も出来るようになりました。素晴らしいですね。私達の中に埋もれていた“無限力”が必要に迫られ、開発されているとはおもいませんか!!

この度、昨年度の普及誌購読者拡大と聖使命会員拡大の運動成果が総合3位であると部長先生より教えて頂きました。山口教区、三重教区に続く第3位という大変嬉しい、誇らしい快挙です。京都第二教区は、皆様の深い信仰心によって支えられています。今後とも、聖使命会員拡大に皆様と共に明るく、楽しく喜びいっぱい運動して行きましょう。どうぞよろしくお願い致します。

支部・誌友会・会員

ありがとうございます。コロナウイルス感染拡大防止対策に協力のため、パソコンやスマホを利用して誌友会開催をお願い致します。一日も早く顔を合わせて開催出来ますようお祈り致します。

〈うちんこの誌友会〉

ありがとうございます。綾部総連高倉支部です。いつも、月初めの日曜日に開催しております。始めに感謝奉納祭を必ず行います。会場を聖經で清めた後、誌友会を行います。いつものメンバーは5名で、遠方より足を運んでくださいます。身体の不調や忙しい日々があっても、「この誌友会があるからこそ、心も身体も生き生きして来ます。」と、笑顔でおっしゃられいつも若々しいです。只今、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、誌友会が開催されませんが、早く笑顔あふれる楽しい誌友会が開催されることを願っております。

令和2年7月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	曜
〔道場休館日〕				(相) 正副・地区連会長会議【オンライン】(10時)		先祖供養祭(10時) 神官・職員のみによる開催【オンライン】 五者会議(11時30分)	〔道場休館日〕	(教区) 献労の日	万教包容の御祭(本部)					〔道場休館日〕	聖使命感謝奉納祭	本部・教化部行事
																教化部長
休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	早朝行事担当

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
長村婦美子先生感謝の集い(五者と職員のみで開催)【オンライン】	〔道場休館日〕			(白) 総連会長・対策部長担当会議(10時)	(講) 地方講師・光栄一日研修会及び同役員会・【オンライン】(10時)	〔道場休館日〕 海の日振替	〔道場休館日〕 スポーツの日	〔道場休館日〕 海の日	(白) 正副会長会議(10時) 普及誌仕分け日				住吉神社月次祭(10時) 五者と職員のみによる開催【オンライン】	
教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	休み	休み	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長

☆五者会議及び各組織の会議・研修会はオンラインを予定しております。
また、先祖供養祭、住吉神社月次祭、長村婦美子先生感謝の集いはフエィ
スブックで会員へライブ動画を配信しておりますのでご利用ください。

☆献納品ありがとうございます
・匿名 台座用国内産木材
☆生物多様性保全募金ありがとうございます
670円
☆お賽銭ありがとうございます
26,656円

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について
全国で緊急事態宣言が解除されましたが、第二波の懸念等、今後の見通しが見えないため、道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持いたしております。
ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。